

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

平成 30 年 10 月 31 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。その後、警戒事項に変更はありません。

気象衛星ひまわりの観測によると、噴火が確認された2018年7月12日の夜から、西之島付近の地表面温度¹⁾に一時的に上昇が認められましたが、2018年7月下旬頃からは周囲とほとんど変わらない状態となっています。

[illegible]

図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及び西之島の位置図
西之島は、東京の南約1000km、父島の西約130kmに位置します。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

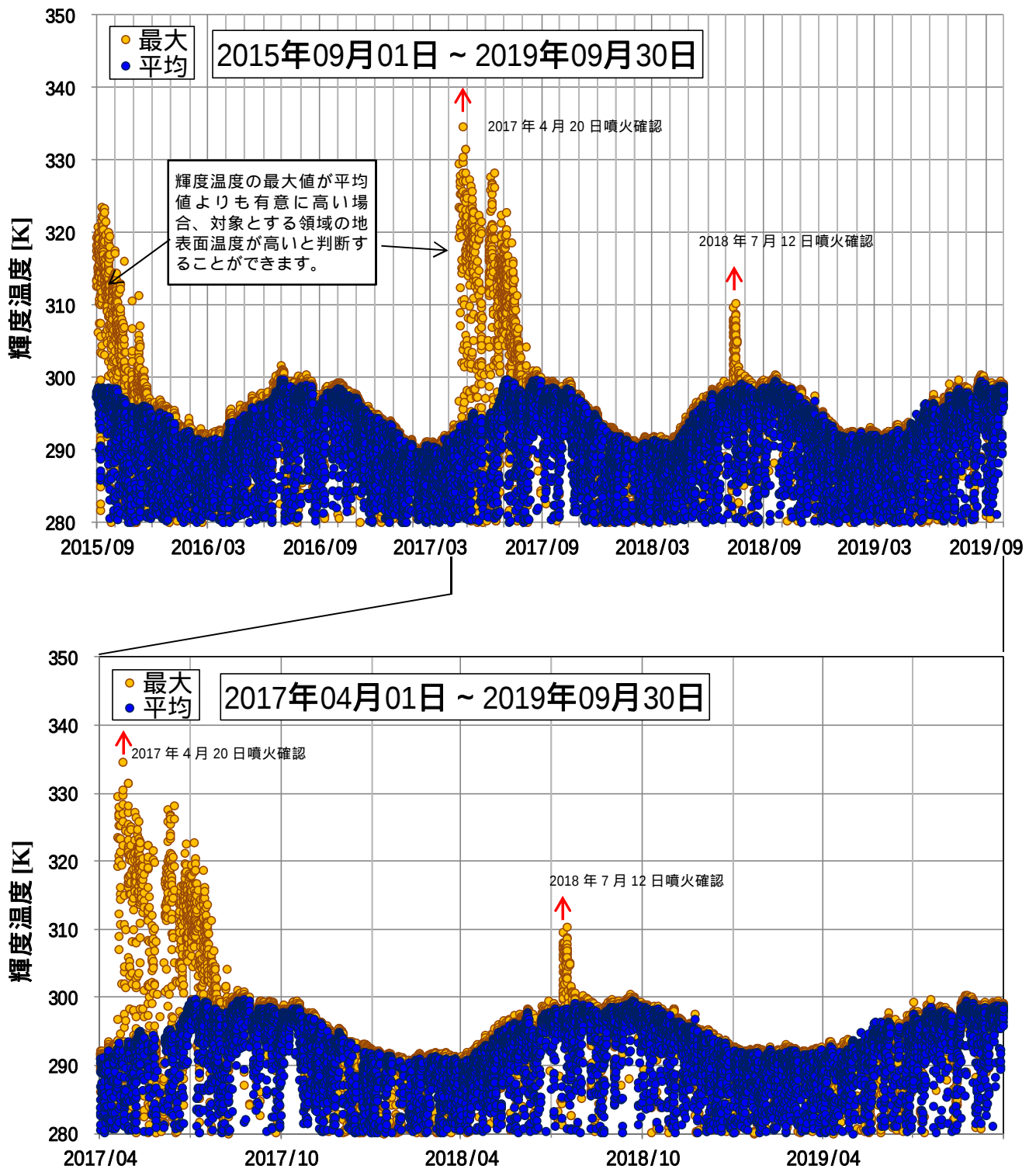


図2 西之島 気象衛星ひまわり8号及び9号の観測による西之島付近の輝度温度の変化

輝度温度は中心波長 $3.9\mu\text{m}$ 帯による観測。

西之島を含む概ね 30km 四方の領域内の輝度温度の最大値と平均値を示しています。

日射による影響を考慮し、夜間の観測値のみ解析しています。

- ・気象衛星ひまわりの観測によると、噴火が観測された 2018 年 7 月 12 日の夜から西之島付近の輝度温度は高まりましたが、2018 年 7 月下旬頃より噴火前の状況に戻っています。